

かざ 風のつちのつた

●開催趣旨

「田んぼコンサート」は、私たちの命を育んでくれる田んぼや豊かな自然がこの地にこうしてあること、そして、今年も無事収穫の時期を迎えることができたことに対する感謝を込めて、二〇〇五年より開催しております。

第5回目となる今年には、『風土(かざつち)のうた』と題し、奄美の唄者(ウタシヤ)朝崎郁恵さんをゲストにお呼びします。

大地を目覚めさせる風のように、奄美から届く一陣のうた風が、急ぎ過ぎて何かを失いかけている私たちの歩みを止め、自分の足元を見つめ直すきっかけを作ってくれることでしょう。

●プログラム

16時 開場

16時半 第一部「トーク」

「原郷の奄美シマ唄からのメッセージ」
西日本新聞編集委員 田代俊一郎氏
(聞き手) 才津原 哲弘氏

17時半 休憩

18時 第二部「ライブ」

朝崎 郁恵 シマ唄のゆふへ
19時半 終了

※当日は、糸島産の野菜やお飲物などの販売も行います。
開演前やご休憩時にお楽しみください。

●開催日

二〇〇九年十月十七日(土)

●場所



●料金

前売り 二五〇〇円

当日 三〇〇〇円 ※中学生以下は無料

●チケット予約方法

チケットは電話、ファックス、メールにてご予約いただけます。

住所・氏名・連絡先(電話・メール)・人数を明記の上、お申し込みください。
尚、料金は当日受付にてお支払ください。

●お申し込み・お問い合わせ

【龍国寺】

電話 (〇九二)三二五〇五八五
ファックス (〇九二)三二五〇九四八
E-mail kazatsuti@yahoo.co.jp

●主催

龍国寺／田んぼコンサート2009実行委員会

田代俊一郎氏(ウタシヤ)

一九五〇年、北九州市生まれ。慶応大学文学部卒業後、西日本新聞社入社。
ソウル支局長、社会部長、文化部長などを経て現在、編集委員。

主な著書に「駆け抜けた前衛九州派とその時代」
「立原道造への旅」「龍国の手仕事」など。近著に「原郷の奄美 昇曙夢とその時代」。

才津原 哲弘氏(聞き手)

一九四六年、広島市生まれ。福岡市民図書館、福岡県荏田町立図書館などに勤務後、旧能登川町立図書館・博物館の館長を務め、「人がよりよく生きるための、よりよく考えるための場所」としての図書館づくりを行う。庄倒的な蔵書数に加え、多彩なゲストによる講演会や展覧会、コンサートなどを開催するなど、住民から「町の誇り」と言われる図書館を創り上げた。
二〇〇七年に退職後、二丈町に移住。精力的に講演活動を行う一方、農業に励んでいる。

朝崎 郁恵氏(唄者)

一九三五年、奄美大島加計呂麻島生まれ。

奄美諸島で古くから唄い継がれてきた奄美シマ唄の唄者(ウタシヤ)。父・辰郎(たつじよ)の影響を受け天性の素質を磨き、十代にして天才唄者として活躍。一九六〇年に島を離れるも、活動を続け、ニューヨーク、ロサンゼルス、キューバなどの海外公演を始め、国内でも国立劇場十年連続公演等、数々の大舞台を踏む。

一九九七年に発表したピアノとのコラボレーションによるミニアルバム「海美(あまみ)」(現在廃盤で、細野晴臣や宮田など音楽界に多くの信者を作り、注目を浴びる。その後、「うたばうたゆん」(2002年)、「うたあらしいび」(03年)、「おぼくり」(05年)、「シマユムター」(06年)、シタール奏者ヨシダグダイキチとのコラボレートアルバム「はまさき」(07年)などをリリース。
二〇〇八年八月、初のベスト盤をユニバーサルミュージックより発表。

本来の奄美島唄の伝統を守りつつ、坂本龍一やB.B.クンチチ、上妻宏光、吉保良など数多くの音楽家と共演しながら、ピアノ、三味線、ギター、シタール、ガムラン他、世界中の様々な楽器で唄い続けている。
ライブ活動は年間四十本以上。心の奥底に語りかける深い唄声は、世代を超えて多くの人々に感動を与え、熱い支持を集めている。 <http://www.asazakikue.com/>

